

2022年日本平和大会実行委員会ニュースno.7



発行:2022年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2022/11/17
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

岸田大軍拡を許さない世論と運動の飛躍の場 第6回実行委員会を開催

日本平和大会実行委員会は17日午前、オンラインで第6回実行委員会を開催。10団体から14人出席しました。

今回は、大会前最後の実行委員会。企画の詰めと運営体制、さらに大会報告などについて討議し、参加規模という点でも成功するよう意思統一を行いました。



日本の進路の転換に対抗軸を示す大会に 東森・安保破棄中央実行委事務局長

大会まで10日となりました。成功に向けた最後の実行委員会、よろしくお願いします。

大会の課題を深める意味で、情勢の若干の問題についてふれたいと思います。

自衛隊と米軍による大規模な日米合同演習「キーン・ソード23」が今月10日から始まり、19日まで行なわれています。演習は「グレーゾーンから武力攻撃事態に発展するまでを想定」して、ミサイル発射訓練などを行なうものです。日本最西端の、台湾と110kmにある与那国島では、「有事になった時に通ったことがない道を通る『ぶっつけ本番』では戦いにならない。飛行場から駐屯地まで自走することに意味がある」と防衛省関係者が、説明していると報道されています。キーン・ソードは日米軍事一体化の訓練と、琉球新聞社説が批判しています。

こうした中、「国家安全保障戦略」「防衛大綱」など安保関連3文書の今年末改定に合わせて、「敵基地攻撃」の発動要件を閣議決定するという動きになっています。

こうした、ロシアのウクライナ侵略への「悪用」ともいえる動きは、大軍拡・憲法9条蹂躪・改憲とセットで進んでおり、野党状況にも影響を与えています。

平和大会が、このような動きを深くとらえ、日本の進路の大転換に対応した対抗軸を示すものとなるよう、みなさまのご奮闘を呼びかけ、あいさつとします。

■魅力あふれる大会 海外からは、ウクライナ、フィンランド、ベルギー、イギリスなど、ウクライナ危機に乗じた NATO 拡大に抗している運動の思いと状況を、質疑を含めて聞くことができます。日本の情勢、運動については、半田滋さん、小泉親司さん、川田忠明さん、布施祐仁さん、清末愛砂さん、そして各地の運動など、魅力あふれる方々が登場し学び交流できます。

■遅れている参加組織 しかし、一方で視聴会の到達がまだ昨年を下回っているなど参加組織が遅れています。魅力あふれ、岸田大軍拡を許さないたたかいの飛躍の場ともなる大会を、多くの方と視聴しましょう。忙しい方、視聴会場に行けない方にも、「26日午前、同午後、27日午前の3コマのどれかでも」と、個人視聴も広げ、岸田大軍拡を許さないたたかいの力にいきましょう。

.....

都道府県実行委員会のみなさんへ 明日18日が登録日です。

■名簿・メール等の整理のため、所定の登録用紙でお願いいたします。18日後の追加については、個別に相談したいと思いますので、事務局へ連絡下さい。大会HPからの中央団体・個人による申し込みは21日まで受け付けます。■Zoomの招待状、大会資料は、23日午後に発信の予定です。視聴会を準備されている方、印刷等の手配、よろしくお願いします。